

# ☆ 長崎バリアフリー通信 ☆ Vol 4 (第2回 女性のためのバリアフリー交流会の報告)

発行日 2010年5月5日 発行人 オフィス「夢」・長崎バリアフリーサークル Ami 代表 管田多津子  
〒851-2127 西彼杵郡長与町高田郷 1933 TEL / FAX (095) 855-2111

2010年4月24日(土)春の暖かな天気の中長与町ふれあいセンターで第2回「女性のためのバリアフリー交流会」を開催しました。

今回は“街の中で感じるバリア”と言うテーマで意見交換を行いました。



テレビでは、  
この様に放送されました。

参加者5名。幅広い年齢の女性に様々な立場から街中で感じるバリアや、バリアフリーな場所などについて、楽しい雰囲気での意見交換させて頂きました。当日はNIB長崎国際テレビさんの取材もあり、アナウンサーの方やカメラさんもいらっしやって下さいました。この様子は4月26日、NIB news everyの中で放送されました。

## <参加者のご意見・ご感想>

- ・歩道の上にバイクや自転車を停めていると車椅子やベビーカーが通りにくい。
- ・歩道がタイル上になっている場所は見た目は綺麗だが転倒の危険性もある。
- ・商業施設などにあるオートスロープは、ベビーカーや車椅子でも使用できてよい。
- ・点字ブロックの上にベンチが設置してある場所がある。
- ・優先駐車場には赤ちゃんが生まれてからも駐車出来るようにした方がよい。

**皆さんから頂いた意見は、今後のバリアフリー化へ向けて調査し自治体へ改善の要請を行っていきたいと思っています。**

5月2日(祝)長崎県立総合体育館アリーナかぶとがにて、第12回もってこ〜い長崎「ふうせんバレーボール交流会」が行われました。



今年は19チームの参加があり、福岡からも参加されていました。ふうせんバレーは、ある重度障がい者が「重い障がいがある人も一緒に出来るスポーツがあったらいいな・・・」という意見から作られたスポーツです。ふうせんバレーは障がい者と健常者が同じチームを作り、全員が必ずふうせんにタッチしなければいけません。

チームで協力しながら得点を重ねる試合の迫力は、見ている側も思わず応援に力が入りました。

秋には九州大会も行われます。今後のふうせんバレーにも注目です。

※今後も「長崎バリアフリー通信」では様々なバリアフリーな活動もご紹介していきたいと思っています。

**次回「女性のためのバリアフリー交流会」は6月を予定しています。**